



欲しい情報を自分で選べる！ 区LINE公式アカウントの受信設定

問広報課報道係(☎5722-8702、FAX5722-8674)

新型コロナウイルスワクチンの情報や緊急情報など、区が発信する情報をスマートフォンなどで受け取れる、区LINE公式アカウント。欲しい情報を自分で選ぶことができる、受信設定の機能があることはご存じですか。詳細は区HP(コード①)をご覧ください。



①



トーク画面

受信設定は
2ステップ

1

区LINE公式アカウントのトーク画面(左写真)の受信設定をタップする



設定画面

2 トーク画面に表示される質問に沿って、受信したい情報を設定する

選べる情報は
9種類！

- ①すべて
- ②新型コロナウイルス感染症対策
- ③妊娠・子育て・教育
- ④福祉
- ⑤健康医療
- ⑥防災・防犯
- ⑦環境・ごみ・リサイクル
- ⑧イベント・講座
- ⑨上記以外

※災害情報や新型コロナウイルスワクチンなどの重要な情報は、受信設定に関わらず配信します

写真でつづる
まちの記憶

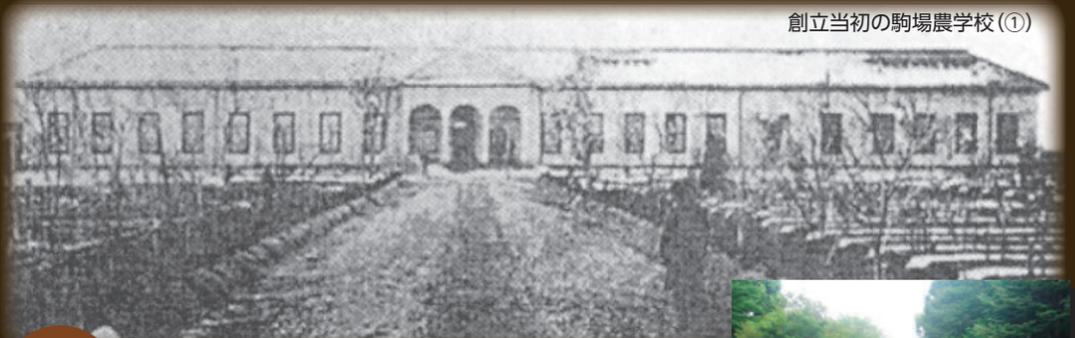
その1
明治の
目黒

目黒アーカイブ フォトギャラリー

4年度、目黒区は区政90周年の節目を迎えます。これまで目黒のまちがどのように移り変わってきたのか、写真とともに振り返ります。初回は明治期の目黒のひとコマを紹介します。

問広報課区報係(☎5722-9486、FAX5722-8674)

写真出典／①「目黒区のおゆみ～写真でたどる区政の変遷」
②「あの日この顔～私たちのふるさと目黒の歩み」



創立当初の駒場農学校(①)

明治11年、駒場農学校が開校(駒場1～4丁目)

駒場農学校は東京大学農学部の前身で、現在の東京大学駒場地区キャンパス、駒場・駒場野公園など約6万坪の敷地にありました。今も駒場野公園内に残る水田は、農学校の試験用だったもので、日本の近代農学に大きな影響を与えたドイツ人教師ケルネルの名を残し「ケルネル田んぼ」と呼ばれています。



▲ケルネル田んぼは、筑波大学付属駒場中・高等学校(世田谷区池尻)の生徒たちが、今も稲作を受け継いでいる



正面遠方に見えるのは1等観覧席。レース観戦に訪れた大勢の人の姿が見られる(②)

明治40年、目黒競馬場開設(下目黒4～6丁目)

目黒競馬場は、現在の下目黒に開設しました。調教馬場や出走馬を見せる引馬場、貴賓室などもある3階建ての観覧スタンドなど、当時としては目新しい設備をそろえ、大いににぎわいました。昭和7年には第1回日本ダービーも開催されましたが、宅地化が進んだことなどから、昭和8年に第2回日本ダービーを開催した後、府中市へ移転しました。往時の面影を残すのは、下目黒4丁目の競馬場外周の道と、目黒通りの「元競馬場前」というバス停、元競馬場の碑だけです。



▲目黒通りの元競馬のバス停近くに、第1回日本ダービー優勝馬の種牡馬の記念碑「トウルヌル像」がある